

## 第1学年 国語科学習指導案

- 1 単元 **ちがいをかんがえてよもう「どうぶつの赤ちゃん」** (ますい みつこ 作)  
 2 学習指導の考え方

**このような子どもたちだから**

本学年の子どもたちは、「いろいろなくちばし」「じどう車くらべ」の二つの説明文を学習してきた。「いろいろなくちばし」では、挿絵とことばをつないで読んだり、問いの文、答えの文という文章構造をとらえたりして、くちばしの形と食べ物との関係性を読み取る学習を行った。「じどう車くらべ」では、「そのために」という接続語に着目することで、しごととつくりには深い関係があることを読み取る学習を行った。これらの学習を通して、挿絵とことばをつないで読んだり、ことばをはずして読んだりできるようになってきた。しかし、似たことばをくらべて読むことについては、まだ十分ではない。

**このような教材で**

本教材「どうぶつの赤ちゃん」は、次のような特質をもっている。冒頭に2つの問題提起文があるため、読みの視点がとらえやすい。ライオンの赤ちゃんとしまうまの赤ちゃんの、生まれたときの様子や成長の様子が、具体的な観点をもとに書かれてあるので、読み取った内容の比較がしやすい。成長の早さや大きさを表現する上で、子ども達にとってわかりやすい言葉を用いているため、イメージをもちやすい。

○ こうした特質を踏まえて、本教材で習得・活用する読みの技能を次のように考えた。

(活) 挿絵と言葉をつないで読む

- ・ 「生まれたばかりの様子・大きくなっていく様子」の文章構成をつかむ。

(活) ことばをはずして読む

- ・ 「もうやぎぐらいの大きさ」から、しまうまの赤ちゃんは生まれたばかりなのにライオンの赤ちゃんと比べると、大きいことを読む。

(習) 接続語を読む

- ・ 「やがて」から時間の経過や赤ちゃんの様子を読む。

(習) 似たことばと比べて読む

- ・ 「立つ」と「立ちあがる」とを比べて、しまうまの赤ちゃんは何度も失敗しながら立つ様子を読む。

(習) 事柄を比べて読む

- ・ 「目はあいていて」・「耳もぴんと立って」を比べて、ライオンの赤ちゃんは目や耳が使えなくてもおかあさんがお世話をしてくれるが、しまうまの赤ちゃんはおかあさんが弱いので、自分で身を守るために生まれたばかりで目も耳も使えることを読む。

**このような指導・支援を行いながら**

○ **つかむ段階**

- ・ 動物の赤ちゃんクイズを行うことで、動物の赤ちゃんへの興味を高め、動物によって様子が違うことに気付かせる。さらに、単元名に着目させることで、違いを考えながら読み確かめていくことを意識付ける。
- ・ 赤ちゃんの様子を8つの観点から表に書きまとめさせることで、読み確かめていく視点を明確にさせ、観点ごとに読み確かめていく学習計画を立てる。

○ **深める段階**

- ・ 生まれたときや成長の様子をとらえさせるために、実物大の動物の絵や時間の経過がわかる具体物を使ったり、動作化させたりする。
- ・ 子どもたちの読みを構造的に板書で整理し、詳しく読み取ったことに花丸を貼り、その花丸をつなぐことでどの叙述に着目し、どんな読みアイテムを使って読んだのかはっきりさせる。

○ **まとめる段階**

- ・ 読み確かめたことをもとに、ライオンのおかあさんとしまうまのおかあさんの共通点について話し合うことで、赤ちゃんの様子の違いはおかあさんの強さの違いに関係することや、どちらの赤ちゃんもおかあさんから大切にされていることに気付かせる。
- ・ 図鑑作りのために、赤ちゃんとお母さんとの関係や育ち方に気を付けて読むことでどの動物の赤ちゃんもお母さんに大切にされていることに気付かせる。

**このような目標を設定して学習指導を展開します**

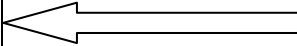
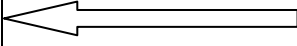
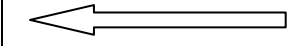
○ ライオンの赤ちゃんとしまうまの赤ちゃんの違いが、育ち方の違いであることを読み取り、どの動物の赤ちゃんもお母さんから大切にされていることに気付くことができる。

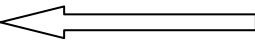
○ 「ことばをはずして読む、挿絵と言葉をつないで読む」読みアイテムを活用しながら、「似た言葉と比べて読む」読みアイテムを習得することができる。

3 学習指導計画と評価規準（全13時間）

		評価規準	ア 国語への関心・意欲・態度	イ 読む能力
			「どうぶつの赤ちゃん」の内容をとらえたり、自分の思いや考えを発表し合ったりしながら、楽しんで読もうとしている。	・ 時間的な順序や大きさや目や耳など比べる観点に沿って、内容の大体を読み、理解している。 ・ 説明されている事柄と叙述と結び付けて想像しながら読んでいる。
過程	配時	主な学習活動 (◎は見通す活動と見直す活動)	単位時間ごとの具体的な評価規準 数字は見通す活動・見直す活動での評価規準 ( )は評価方法	
つかむ	1 ／ 13  (2組本時)	<p>1 単元名、題名をもとに、読みの構えをつくる。</p> <p>◎ 単元名と題名から、動物の赤ちゃんの違いを比べて読むという見通しをもつ。</p> <p>2 冒頭に着目して読みのめあてをつくる。</p> <p>(1) 「～でしょう」という文末の表現から、お尋ねの文を見つける。</p> <p>(2) 題名と冒頭の文から、知りたいことを出し合い読みのめあてをつくる。</p> <p>◎ 読み取ったことをもとに、「生まれたばかりの様子」と「大きくなっていく様子」の何を読んでいくのかをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>どうぶつの赤ちゃんは、生まれたばかりのときは、どんなようすをしているのでしょうか。どのようにして、大きくなっていくのでしょうか。</p> </div>	<p>① 動物の赤ちゃんクイズから、赤ちゃんの違いに目を向けて読もうとしている。(発言内容)</p>	<p>① 話し合ったことをもとに「生まれたばかりの様子」と「大きくなっていく様子」で何を比べて読むのかを具体的につかんでいる。(プリント)</p> <p><b>(活) 文末を読む</b> 「～でしょう」に着目して、問題提示文が2つあることを理解している。</p> <p><b>(活) 接続語を読む</b> 「そして」 読む順序がわかる。</p>
	2 ／ 13	<p>1 読みのめあてにそって全文を読み通す。</p> <p>◎ 挿し絵をもとに事柄の順序の大体をとらえ、比べる観点を見つける。</p> <p>2 挿し絵をもとに、ライオンの赤ちゃんの様子やしまうまの赤ちゃんの様子の大體をとらえる。</p> <p>3 読みのめあての答えを書きまとめる。</p> <p>(1) 表の観点ごとに書かれている事柄を抜き出す</p> <p>◎ 表をもとにライオンの赤ちゃんとしまうまの赤ちゃんの違いについてわかったことを話し合う。</p> <p>(2) 読みのめあての答えを書きまとめる。</p>	<p>② 挿絵と叙述をつないで読み、「生まれたばかりの様子・大きくなっていく様子」の文章構成をおさえている。</p> <p>③ 観点ごとにライオンの赤ちゃんとしまうまの赤ちゃんの違いをとらえて書きまとめている。(プリント)</p>	

	<p>3 / 13</p>	<p>1 表をもとに疑問を出し合い、読み確かめていく計画を立てる。</p> <p>◎ 表をもとに自分が分かったことを発表し合い、ライオンの赤ちゃんとしまうまの赤ちゃんの違いに気付く。</p> <p>(1) 表の中の言葉について疑問をもったことについて線を引く。</p> <p>(2) 表の観点ごとに疑問を出し合う。</p> <p>(3) どうしてこんなに違うのかなという読み確かめる視点をもつ。</p> <p>◎ 自分が読み確かめていきたい疑問を書きまとめる。</p>		<p>④ 疑問をもとにどの事柄で、何を確かめるのか具体的につかんでいる。(発言内容)</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl;">深める</p>	<p>4 / 13</p>	<p>1 ライオンの赤ちゃんの生まれたばかりの様子を読んでいくことを確認する。</p> <p>◎ ライオンの赤ちゃんの生まれたばかりの様子がわかるところに線を引く。</p> <p>2 「大きさ・目や耳の様子・お母さんに似ているか」の三つの観点にそって、話し合う。</p> <p>3 ライオンの赤ちゃんが弱々しいわけを話し合う。</p> <p>◎ わかったことを友だちと交流し、読み深まった内容や使った読みアイテムを確かめる。</p>	<p>② 読みアイテムを使いながら、ライオン、しまうまの赤ちゃんの生まれたときの様子、大きくなる様子を比べて、その違いを考えようとしている。</p>	<p><b>(活) 挿絵と言葉をつないで読む</b> 挿絵で目や耳がとじていることを確かめる。</p> <p><b>(活) 言葉ははずして読む</b> 「とじたまま」・・・目や耳がずっととじている・あかない様子</p> <p>⑤ ライオンの赤ちゃんが弱々しくて一人で生きていけないことや、お母さんが強いので赤ちゃんを守ることができるということを書きまとめている。(プリント)</p>
	<p>5 / 13  (5組本時)</p>	<p>1 しまうまの赤ちゃんの生まれたばかりの様子を読んでいくことを確認する。</p> <p>◎ しまうまの赤ちゃんの生まれたときの様子を詳しく読むために、どのことばをどう読めばいいか考える。</p> <p>2 しまうまの赤ちゃんの生まれたばかりの様子がわかるところに線を引く。</p> <p>3 「大きさ・目や耳の様子・お母さんに似ているか」の三つの観点にそって、話し合う。</p> <p>4 ライオンの赤ちゃんと比べて、生まれたばかりの様子が違うわけを話し合う。</p> <p>◎ わかったことを友だちと交流し、読み深まった内容や使った読みアイテムを確かめる。</p>	<p>③ しまうまの赤ちゃんの生まれたときの様子、大きくなる様子を比べて、その違いを考えようとしている。</p>	<p><b>(活) 言葉ははずして読む</b> 「もう」 生まれたばかりなのに 「ぴんと」 よく聞こえる</p> <p><b>(習) 事柄を比べて読む</b> 「子ねこぐらいの大きさ」⇔「もうやぎぐらいの大きさ」</p> <p>⑥ しまうまの赤ちゃんはお母さんがライオンのように強くないため、自分の身を守ることができるように、大きく生まれてくることを書きまとめている。</p>

<p>6 / 13</p>	<p>1 ライオンの赤ちゃんの歩いたり走ったりするまでの様子を読んでいくことを確認する。</p> <p>◎ ライオンの赤ちゃんの大きくなる様子（移動の仕方）を詳しく読むためにどのことばをどう読めばいいか考える。</p> <p>2 「立つ・歩く・走る」様子がわかるところに線を引く。</p> <p>3 挿絵や叙述をもとに、「立つ・歩く・走る」様子について話し合う。</p> <p>4 ライオンの赤ちゃんが、生まれつき一人では何もできないわけを話し合う。</p> <p>◎ わかったことを友だちと交流し、読み深まった内容や使った読みアイテムを確かめる。</p>		<p><b>(活) 挿絵と言葉をつないで読む</b></p> <p>口にくわえて運んでもらう様子を挿絵で確かめる。</p> <p>⑦ ライオンの赤ちゃんは、自分で動くことができないけれど、お母さんが強いので敵が来ても守ってもらえることを書きまとめている。(プリント)</p>
<p>7 / 13</p> <p>(1組本時)</p>	<p>1 しまうまの赤ちゃんが歩いたり走ったりするようになるまでの様子を読んでいくことを確認する。</p> <p>◎ しまうまの赤ちゃんの大きくなる様子（移動の仕方）を詳しく読むために、どのことばをどう読めばいいか考える</p> <p>2 「立つ・歩く・走る」様子がわかるところに線を引く。</p> <p>3 挿絵や叙述をもとに、「立つ・歩く・走る」様子について話し合う。</p> <p>4 ライオンの赤ちゃんと比べて、早く立ち上がったたり、走ったりできるようになるわけを話し合う。</p> <p>◎ わかったことを友だちと交流し、読み深まった内容や使った読みアイテムを確かめる。</p>		<p><b>(活) 似た言葉と比べて読む</b></p> <p>「立ち上がります」…何回も失敗しながら一生懸命立とうとするしまうまの赤ちゃんの様子を読む。</p> <p><b>(習) 事柄を比べて読む</b></p> <p>ライオンの赤ちゃんが自分ではあるくことができずお母さんに運んでもらうこととしまうまの赤ちゃんを比べて、しまうまの生まれてわがの間に自分で走ることができるわけを考える。</p> <p>⑧ しまうまの赤ちゃんが生まれてすぐに立ち、次の日には走れるようになるのは、お母さんが強くないため、敵から自分の身を守るためであることを書きまとめている。(プリント)</p>
<p>8 / 13</p>	<p>1 ライオンの赤ちゃんがえさを食べるようになるまでの様子を読んでいくことを確認する。</p> <p>◎ ライオンの赤ちゃんの大きくなる様子（食べ物）を詳しく読むために、どのことばをどう読めばいいか考える。</p> <p>2 えさを食べるようになるまでの様子がわかるところに線を引く。</p> <p>3 挿絵や叙述をもとに、えさを食べるまでの様子について話し合う</p> <p>◎ わかったことを友だちと交流し、読み深まった内容や使った読みアイテムを確かめる。</p>		<p><b>(習) 接続語を読む</b></p> <p>「やがて」と「そして」から、自分で食べ物が食べられるようになるまでの時間の経過と様子がわかる。</p> <p>⑨ ライオンの赤ちゃんはお母さんが強いので、お母さんからえさも与えられ、守られていることを書きまとめている。</p>

	<p>9 / 13</p>	<p>1 しまうまの赤ちゃんがえさを食べるようになるまでの様子を読んでいくことを確認する。</p> <p>◎ えさを食べるようになるまでの様子がわかるところに線を引く。</p> <p>2 挿絵や叙述をもとに、えさを食べるまでの様子について話し合う</p> <p>3 ライオンの赤ちゃんと比べて、自分でえさを食べるようになるわけを話し合う。</p> <p>◎ 分かったことを友だちと交流し、読み深まった内容や使った読みアイテムを確かめる。</p>		<p><b>(活) ことばをはずして読む</b> 「たった」から、おちちだけ飲む期間がとても短いことを読む。</p> <p><b>(習) 事柄を比べて読む</b> ライオンの赤ちゃんが二ヶ月ぐらいおちちを飲んでいることとしまうまを比べて、しまうまの赤ちゃんが早くから自分で草を食べるわけを考える。</p> <p>⑩ しまうまの赤ちゃんがすぐに自分で草を食べ始めるのは、お母さんが強くないため、自分の力で生きていく必要があるからということとしまうまの赤ちゃんが何でもできるようにおなかの中で守っているということを読み取っている。(プリント)</p>
<p>まとめる</p>	<p>10 / 13</p>	<p>1 読み確かめてきたことをもとに、読みのまとめをする。</p> <p>◎ 模造紙や読み取りプリントをもとに、読み確かめてきたことをまとめる。</p> <p>2 読み方のまとめをする。</p> <p>◎ 予見と最後に書いたまとめを読み比べ、考えが広がったり深まったりしたところを出し合う。</p>	<p>③ 今まで読み取ってきたことはどんなことか意欲的に発表している。(発言)</p>	<p>⑪ ライオンとしまうまの赤ちゃんの違いは、お母さんの違いに関係があること、ライオンもしまうまも、お母さんが赤ちゃんに寄り添っていることは同じことを書きまとめている。(プリント)</p>
	<p>11 ・ 12 ・ 13 / 13</p>	<p>1 読みとってきたことをもとに、動物図鑑を作る。</p> <p>◎ 好きな動物を選んで、動物図鑑を作ることを知る。</p> <p>2 興味をもった動物の赤ちゃんの生まれた時の様子、大きくなっていく様子に視点をあてて調べる。</p> <p>3 書き方を工夫して、カードにまとめる。 「〇〇の赤ちゃんは、生まれたときは～・・・」</p> <p>4 作った動物の赤ちゃんカードを紹介しあい、動物図鑑を完成する。</p> <p>◎ できあがった図鑑を交流し、わかったことを出し合い、感想をまとめる。</p>	<p>④ この動物について調べたいという思いをもって、本を選ぼうとしている。(観察)</p>	<p>⑫ 動物によって、生まれたときの様子や大きくなる様子が違うことや、どの動物もお母さんが寄り添っていることに気付き、感想を書きまとめている。(プリント)</p>

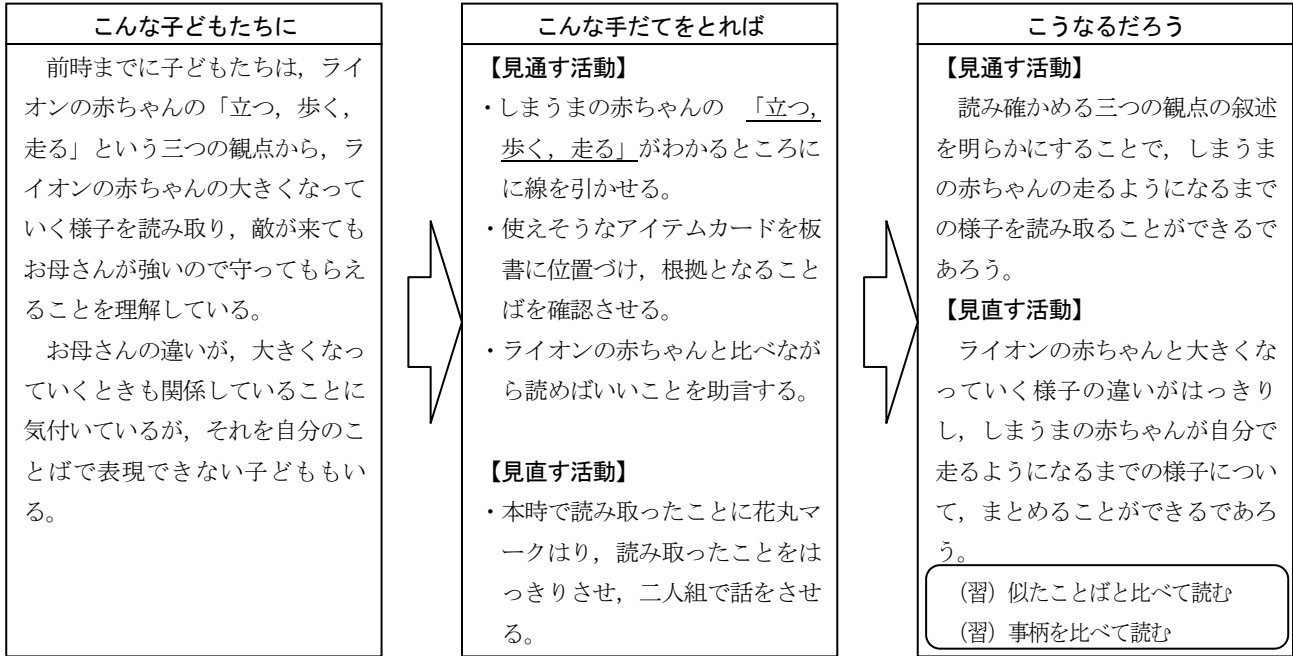
4 本時 (7/13 深める段階) 公開授業② 1年 組教室にて

指導者

5 本時の目標

- しまうまの赤ちゃんは、ライオンの赤ちゃんとは違い、おかあさんが強い動物とたたかえないために、生まれてすぐに自分で立ち上がり、走るようになることを読み確かめることができる。
- 「似たことばと比べて読む、事柄を比べて読む」という読みアイテムを習得することができる。

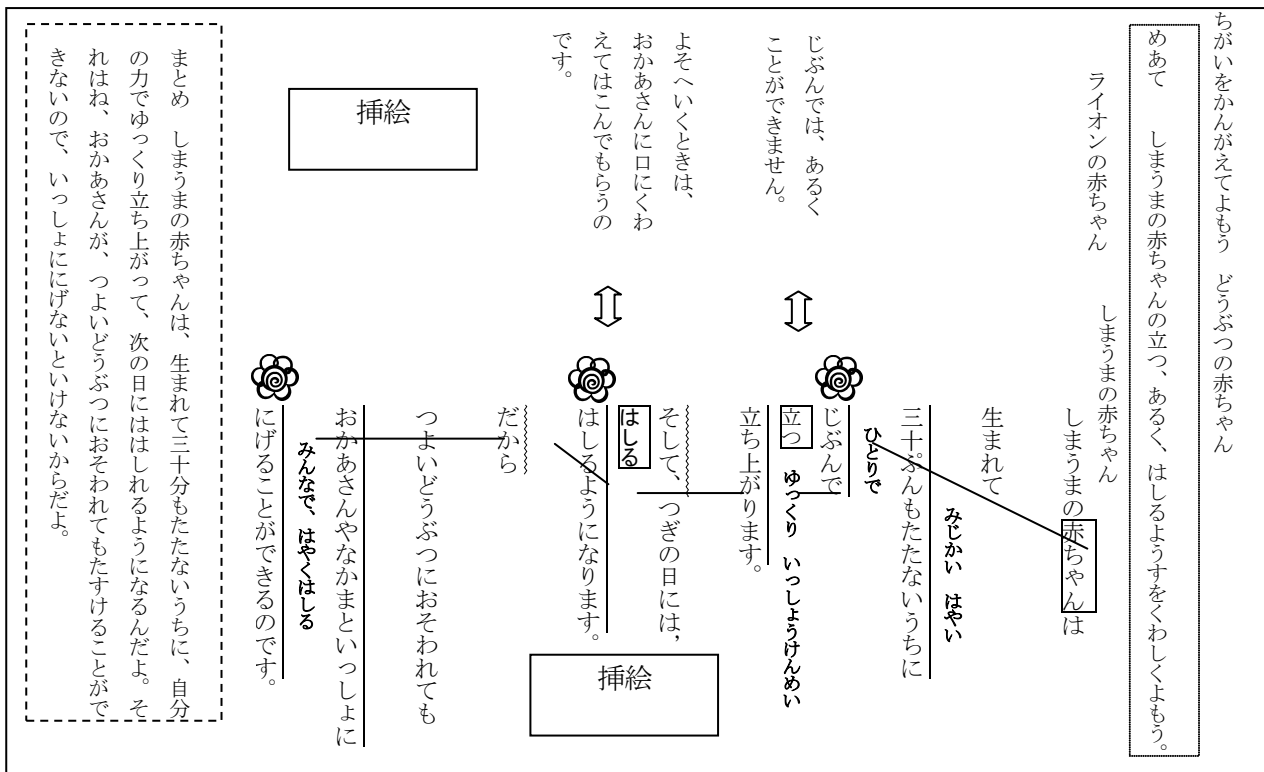
6 本時の授業仮説





7 準備

- 教師…前時までの足跡を記した模造紙(掲示物)、挿絵
- 子ども…読み取りプリント

8 板書計画



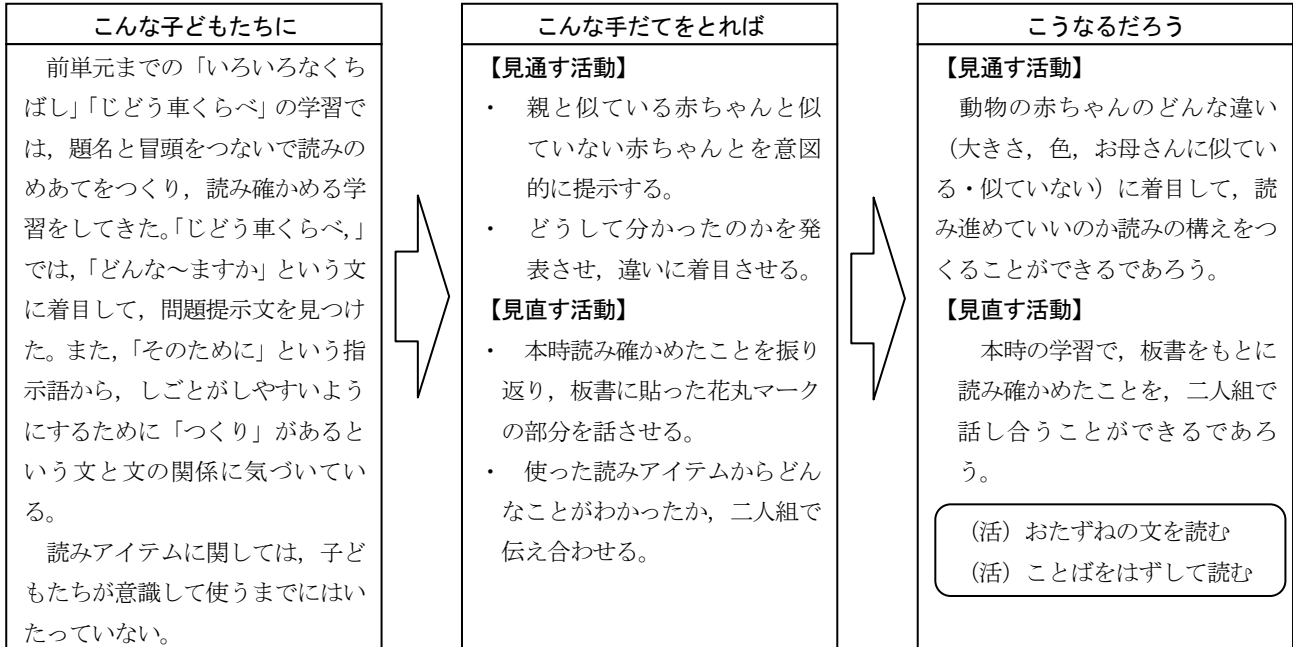
9 本時の展開

学習活動と内容	指導・支援(☆は習得, ★は活用)
<p>1 本時の学習のめあてを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>(1) 前時に読み取ったことと、本時にははっきりさせたいことを話し合い、本時の学習のめあてをつかむ。</p> <p>① 前時に学習したライオンの赤ちゃんの様子を振り返る。</p> <p>② 学習計画の表を確認し、本時めあてをつかむ。</p>	<p>○ 前時に学習したライオンの赤ちゃんの大きくなっていく様子(立つ, 歩く, 走る)を掲示物で確認する。</p> <p>○ ライオンの赤ちゃんと比べながら, しまうまの赤ちゃんが大きくなっていく様子を読み取っていくことを知らせる。</p>
<p>めあて</p> <p>しまうまの赤ちゃんの, 立つ, あるく, はしるようすをくわしくよもう。</p>	
<p>③ 本時場面を音読する。</p> <p>(2) 見通す活動を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【見通す活動】</b></p> <p>しまうまの赤ちゃんの「たつ・あるく・はしる」様子がわかる場所に線を引く, どのことばをどう読むかについて話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">  <p>・「立ち上がります」と「立ちます」をくらべて読んだらいいと思います。</p> <p>・(ライオンの赤ちゃんとくらべながらよむといいです。)</p> </div> </div>	<p>○ 本時で確かめる「立つ・歩く・走る」の三観点の叙述を見つけ, 線を引かせる。</p> <p>○ 使えそうなアイテムカードを板書に位置づけ, 根拠となることばを確認させる。</p> <p>○ ライオンの赤ちゃんと比べながら読めばいいことを助言する。</p>
<p>2 挿絵や叙述をもとに, 走るようになるまでの様子を話し合う。</p> <p>(1) 立ち上がる様子を話し合う。</p> <p>① 「三十ぶんもたたないうちに」「つぎの日には」を読む。</p> <p>② 「立ち上がります」を読む。</p> <p>○ 何度も失敗しながら, ゆっくり立ち上がる。</p> <p>(2) 早く立ち上がったたり, 走ったりできるようになる訳を話し合う。</p> <p>○ お母さんが弱くて赤ちゃんを守れないから。</p>	<p>○ 「三十分もたたないうちに」「つぎの日には」という時間の経過を表すことばに着目させ, しまうまの赤ちゃんの成長の早さを読み取らせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>☆似たことばとくらべて読む</p> <p>「立ち上がります」と「立ちます」と比べて読み, 一生懸命な様子に気付かせる</p> </div> <p>○ 「お母さんの強さ」という視点からわけを話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>☆ことがらをくらべて読む</p> <p>ライオンの赤ちゃんと比べて読むことで, しまうまの赤ちゃんが自分の力で立ち上がって走るのは, お母さんがよわくてたたかえないから, いっしょに逃げるためであることをおさえる。</p> </div>
<p>3 本時の学習を振り返り, まとめる。</p> <p>(1) 板書をもとに, 本時に読み確かめられたことを振り返る。</p> <p>(2) 見直す活動を行う。</p>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【見直す活動】</b></p> <p>話し合い活動を通して確かになった走るようになるまでの様子について, わかったことを二人組で話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">  <p>・おかあさんがつよいどうぶつとたたかえないから, いっしょににげることができるように, 立ち上がったたり, 走ったりするのがはやいんだよ。</p> </div> </div>	<p>○ 花丸でまとめるポイントをおさえながら, しまうまの赤ちゃんが 早く立ち上がったたり走ったりできるようになる訳を自分のことばで話し合わせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>☆ 似たことばと比べて読む</p> <p>☆ ことがらを比べて読む</p> </div>
<p>(3) 話し合ったことをもとに, 書きまとめる。</p>	<p>○書きまとめる際, 書きまとめの視点を与える。</p>

5 本時の目標

- 生まれたばかりの様子やどのようにして大きくなっていくかについて、自分の経験とつなぎながら想像をふくらませて読みのめあてをつくることができる。
- 「おたずねの文を読む・言葉ははずして読む」読みアイテムを活用することができる。

6 本時の授業仮説



7 準備

- 教師…動物の赤ちゃんクイズ用の写真、前単元の掲示物
- 子ども…読み取りプリント

8 板書計画

①生まれたばかりのときは、どんなようすをしているのでしょうか。

②どのようにして、大きくなっていくのでしょうか。

ちがいをかんがえてよもうもよう いろいろ 大きさ

写真	ぞう	写真
写真	きりん	写真
写真	ばんだ	写真
写真	かんがるー	写真

めあて  
たんげいめい・だいめい・ぼうとうをよんで、よみのめあてをつくろう。

③? どんな赤ちゃんがでてくる

どうぶつ 赤ちゃんは、

生まれたばかりのときは、どんなようすを

しているのでしょうか。

おたずね①



おたずね②

そして

おたずねの分をよま



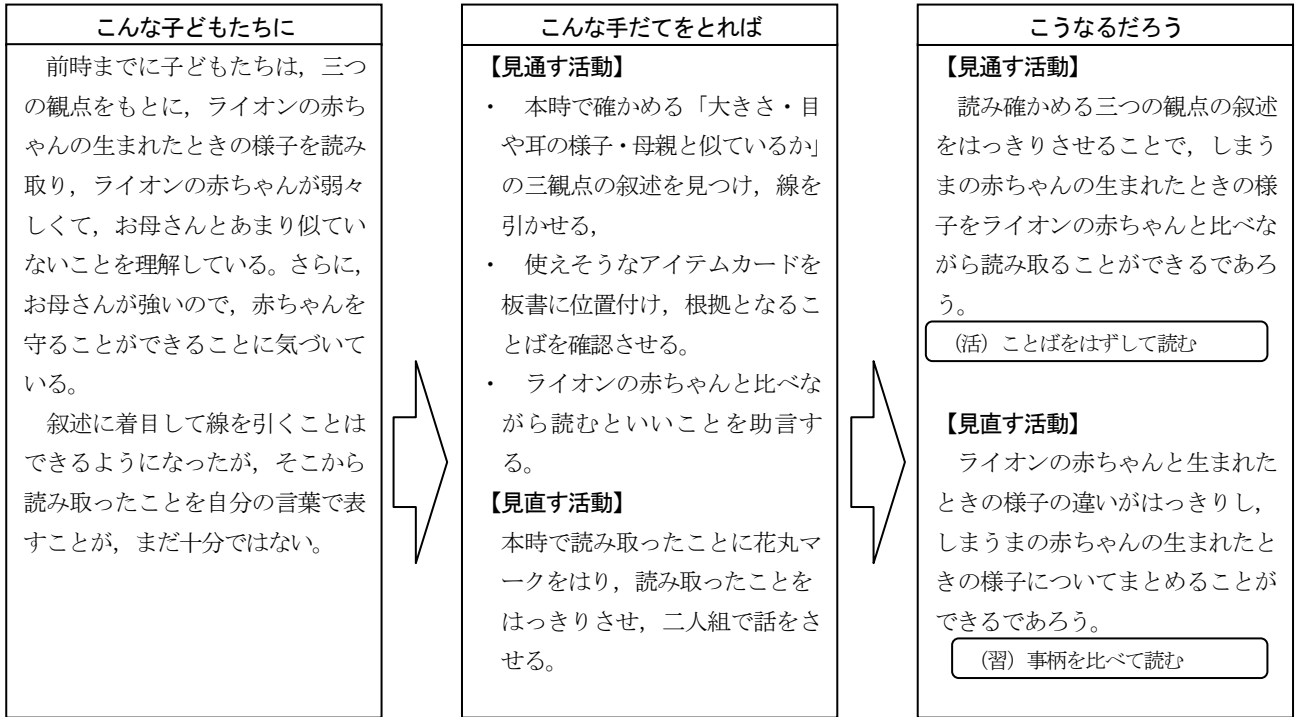
9 本時の展開

学習活動と内容	指導・支援(☆は習得, ★は活用)
<p>1 本時の学習のめあてを確かめ、学習の見通しをもつ。</p> <p>(1) 本時の学習のめあてをつかむ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>めあて たんげんめい, だいめい, ぼうとうをよんで, よみのめあてをつくろう。</p> </div> <p>(2) 見通す活動を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>【見通す活動】</b> 動物の赤ちゃんクイズで分かった動物によってある違いに目を付けて、お話を読んでいくことを確かめ、単元名について話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">  <ul style="list-style-type: none"> <li>・お母さんと赤ちゃんがそっくりの動物があります。</li> <li>・お母さんとは似てない赤ちゃんもいます。模様や色がちがいます。</li> </ul> </div> </div> <p>2 題名・冒頭からわかることについて話し合う。</p> <p>(1) 題名をもとに、動物の赤ちゃんについて知っていることを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 動物の赤ちゃんは毛がはえていない。</li> <li>○ 赤ちゃんはとても小さい。</li> </ul> <p>(2) 冒頭からわかることを話し合う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 問題提示文を見つける。 「どんな～でしょう」「どのようにして～でしょう」</li> <li>② 生まれたばかりのようすについて話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「ばかり」とは生まれてすぐのこと</li> <li>○ 「ようす」は生まれてすぐの大きさや見た目</li> </ul> </li> <li>③ どのようにして大きくなっていくのかについて話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生まれてすぐは、抱っこされているけど、1さいぐらいから歩き始める。</li> <li>○ 最初はおちちをのんでいる。</li> </ul> </li> </ol>	<p>○ 単元名, 題名, 冒頭から読みのめあてをつくることを、既習単元の掲示物をもとに想起させる。</p> <p>○ 本単元の学習の構えをつくる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 親と似ている赤ちゃんと似ていない赤ちゃんを意図的に提示する。</li> <li>○ どうして答えが分かったのかを発表させ、違いに着目させる。</li> </ul> </div> <p>○ 動物の赤ちゃんについて知っていること, 疑問に思ったことを自由に話し合わせることで, 動物の赤ちゃんへの興味を高める。</p> <p>○ 動物の種類によって, 赤ちゃんのようすが違うことをとらえさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>★ おたずねの文を読む 「でしょう」から2つの問題提示文を見つける。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>★ ことばをはずして読む 「ばかり」があることによって生まれてすぐのときのことを表現していることに気付かせる。</p> </div> <p>○ 「生まれたばかりのようす」とはどんなようすなのか, 自分が知っていることとつないで考えさせる。</p> <p>○ 自分の成長を振り返りながら, いろいろなことが少しずつできるようになっていくことに気付かせる。</p>
<p>3 読みのめあてをつくり、本時の学習を振り返る。</p> <p>(1) 読みのめあてをつくる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>どうぶつの赤ちゃんは</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 生まれたばかりのときは, どんなようすをしているでしょう。</li> <li>② どのようにして, 大きくなっていくのでしょうか。</li> </ol> </div> <p>(2) 見直す活動を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>【見直す活動】</b> 板書をもとに, 今日の学習でわかったことや習得した読みアイテムを隣の友達と交流する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">  <ul style="list-style-type: none"> <li>・「うまれたばかり」のばかりをつけるとすぐということがわかりました。</li> <li>・どんな様子かを考えながらお母さんと赤ちゃんのちがいを見つけたいです。</li> </ul> </div> </div>	<p>○ 問題提示文から読み取ったことを整理し, 学習していきたいことをつかませる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時読み確かめたことを振り返り, 花丸マークをつけて確定することで, どの部分を話せばよいかわかるようにする。</li> <li>○ どんな読みアイテムを使ったら, どんなことがわかったか, 二人組で伝え合うことで, 考えをまとめさせる。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>★ おたずねの文を読む</li> <li>★ ことばをはずして読む</li> </ul> </div>

5 本時の目標

- しまうまの赤ちゃんは、ライオンの赤ちゃんとは違い、敵から身を守るために、生まれたばかりのときにもう大きくて、目や耳が使えてお母さんにそっくりであることを読み確かめる。
- 「挿絵とことばをつないで読む、ことばをはずして読む」読みアイテムを活用しながら、「事柄を比べて読む」読みアイテムを習得することができる。

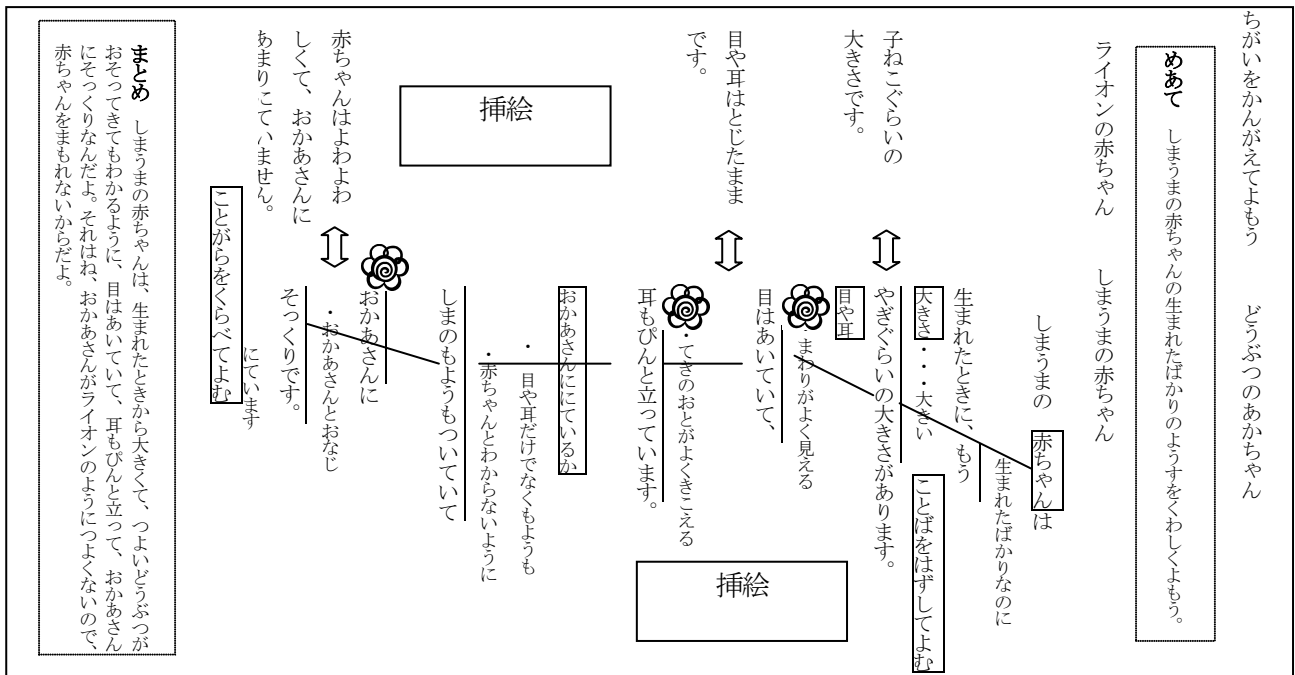
6 本時の授業仮説



7 準備

- 教師…前時までの学習の足跡を記した模造紙 (掲示物)、挿絵、しまうまの赤ちゃんの実物大の模型
- 子ども…読み取りプリント

8 板書計画



9 本時の展開

学習活動と内容	指導・支援(☆は習得, ★は活用)
<p>1 本時学習のめあてを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>(1) 前時に読み取ったことと、本時にははっきりさせたいことを話し合い、本時学習のめあてをつかむ。</p> <p>① 前時に学習したライオンの赤ちゃんの様子を振り返る。</p> <p>② 学習計画の表を確認し、本時めあてをつかむ。</p>	<p>○ 前時に学習したライオンの赤ちゃんの生まれたときの様子を掲示物で確認する。</p> <p>○ ライオンの赤ちゃんと比べながら、しまうまの赤ちゃんの様子を読み取っていくことを知らせる。</p>
<p>めあて しまうまの赤ちゃんの生まれたばかりのようすをくわしくよもう。</p>	
<p>③ 本時場面を音読する。</p> <p>(2) 学習の見通しをもつ。</p>	
<p><b>【見通す活動】</b></p> <p>しまうまの赤ちゃんの生まれたばかりの様子がわかるところに、線を引き、どのことばをどう読むかについて話し合う。</p> <p>・「もう」と「ぴんと」をはずして、読んだらいいと思います。</p> <p>・(ライオンの赤ちゃんとくらべながらよむといいです)</p>	<p>○ 本時で確かめる「大きさ・目や耳の様子・母親と似ているか」の三観点の叙述を見つけ、線を引かせる、使えそうなアイテムカードを板書に位置づけ、根拠となることばを確認させる。</p> <p>○ ライオンの赤ちゃんと比べながら読むといいことを助言する。</p>
<p>2 挿絵や叙述をもとに話し合う。</p> <p>(1) 大きさについて話し合う。</p> <p>「もうやぎぐらいの大きさがあります。」</p> <p>○ 生まれたばかりなのに大きい。</p> <p>(2) 目や耳の様子について話し合う。</p> <p>「目はあいていて、耳もピンと立っています。」</p> <p>○ 目だけじゃなくて、耳も使える</p> <p>○ 耳がぴんと立っていたら、よく聞こえる。</p> <p>(3) お母さんに似ているかについて話し合う。</p> <p>「おかあさんにそっくりです」</p> <p>○ 目や耳、もようまでおかあさんと同じ。</p> <p>(4) どうしてライオンの赤ちゃんと違うのか、そのわけを話し合う。</p>	<p>○ 実物大のしまうまの赤ちゃん(模型)を提示し、大きさを実感させる。</p> <p>★ことばをはずして読む 「もう」をはずして読み、大きさの実感を確認にする。手ががすぐに使えることを確認する。</p> <p>★ことばをはずして読む 「ぴんと」をはずして読み、耳の重要性に気付かせる。</p> <p>○ 挿絵を見て、お母さんと同じ縞の模様をしていることを捉えさせる。</p> <p>☆ことがらをくらべて読む ライオンの赤ちゃんと比べて読むことで、しまうまの赤ちゃんがお母さんとそっくりなのは、お母さんが強いから、自分の身を守るためであることをおさえる。</p>
<p>3 本時学習を振り返り、まとめる。</p> <p>(1) 板書をもとに、本時読み確かめられたことを振り返る。</p>	
<p><b>【見直す活動】</b></p> <p>話し合いを通して確かになった生まれたばかりの様子について、わかったことを二人組で話し合う。</p> <p>・ライオンの赤ちゃんとちがって、お母さんがつよくないから、生まれたときから、大きくて、目もあいていて、耳もぴんと立って、お母さんとそっくりなんだよ。</p>	<p>○ 花丸マークでまとめるポイントをおさえながら、しまうまの赤ちゃんが、お母さんとそっくりなわけを自分のことばで話し合わせる。</p> <p>★ 挿絵とことばをつないで読む</p> <p>★ ことばをはずして読む</p> <p>☆ 事柄を比べて読む</p>
<p>(2) 話し合ったことをもとに、書きまとめる。</p>	<p>○ 書きまとめる際、書きまとめの視点を与える。</p>